明日へ飛躍する企業をサポート ひょうご産業活性化センター通信

JUMP

12
2016
DEC
平成28年11月30日発行

元気企業訪問

武内食品株式会社

ひょうご農商工連携ファンド事業助成金を活用し野菜入りの豆腐を商品化

P5 活性化センター・カレンダー
P6 支援ネットのひろば
●情報カレンダー
●兵庫県信用保証協会かわら版
事業承継保証「リレー」のご案内
●技術最前線
セルロースナノファイバー強化ゴム材料の開発
P9 Tax&Law
自己査定
P10 成長期待企業のイチオシ！
株式会社みつば電気
電気の見える化

今月の支援メニュー

ひょうご農商工連携ファンド事業助成金

県内の農林水産物などの地域貢献を活かした、中小企業者と農林漁業者の連携による新商品・新サービスの開発に対して助成を行っている。

ひょうご産業活性化センターは、県内の中小企業者と農林漁業者が連携して取り組む事業を支援するひょうご農商工連携ファンドを設けています。豆腐製造の武内食品株式会社は、株式会社ささ営農が生産する農作物を混ぜ込んだ豆腐を「はりまのとうふやさい入」として商品化。子育て世代の女性など新たな顧客層の開拓につなげています。

ひょうご産業活性化センターの設備貸与［割賦販売／リース］制度

設備投資を応援します

10%の保証金が不要
（返済条件による）

100万円から最高1億円（税込）までの機械・設備・車両

連帯保証人・担保不要
（原 則）

10年以内の返済期間
（据置期間１年以内）

養父市 天滝

―― 割賦制度 ――
（分割払い）
［3年～10年］

年利
0.90%～2.15%

―― リース制度 ――
［3年～10年］

月額リース料率
0.963%～2.952%

※設備によってはリース制度の対象とならない場合があります。※再リースが必要な所有権移転外ファイナンスリースとなります。

［平成28年9月30日現在］

設備貸与（割賦販売・リース）のお問い合わせは

公益財団法人ひょうご産業活性化センター 設備投資支援室

〒651-0096
神戸市中央区雲井通5-3-1サンパル6F

☎ (078) 230-8801

URL ▶ http://web.hyogo-iic.ne.jp/　ひょうご産業活性化センター　検索

元気企業訪問

武内食品株式会社

今月の支援メニュー
ひょうご農商工連携ファンド事業助成金

播磨産の大豆と野菜で新感覚の豆腐を開発 若い世代の顧客を取り込みシリーズ化を実現

県内産大豆を100%使用

武内食品が製造する「真心とうふ」は西播磨産のもち大豆をはじめ100%県内産の大豆で原材料をまかなっています。15年前までは原材料費を抑えるため輸入大豆のみを使っていましたが、「うちの会社の規模で大手と価格競争していては疲弊するだけ」と、思い切って国産大豆に切り替えを図りました。そんな折、赤穂の大豆生産農家から「一度うちのもち大豆を使ってみてほしい」と依頼が舞い込みます。「使ってみると甘味があっておいしい。在来種のため収量も低いし、豆腐にする際は一般の大豆より量が必要。でもうちだからこそ扱える素材なのではと思いました」と武内秀策専務。その後、他の農家にも、もち大豆の栽培を依頼。委託生産を増やしていきました。

併せて取り組んできたのが、地元消費者への直接販売です。「以前はスーパーなどへの卸が多くを占めていたのですが、もし急に扱ってもらえなくなるようなことがあれば、委託している農家への影響も大きい。自力で販路を開拓してリスクを取っていこうと考えました」。中でも力を入れているのが小型冷蔵車を使った移動販売です。現在では4台がフル稼働し、自社生産の豆腐、厚揚げなどの他、地場産有機野菜、卵や納豆、甘酒などの品目をそろえており、立ち寄り先は西播磨エリア全域をカバーしています。

展示会に出展し評価が一変

武内専務がもち大豆以外の在来種の大豆を探すうちに知り合ったのが、地域の堆肥などを積極的に利用した土作りから、収穫した農作物の加工までを手掛ける集落営農型農業法人、ささ営農の担当者でした。さまざまな話をするうちに、ささ営農が生産するバジルを豆腐に混ぜてみてはどうかというアイデアが生まれました。

ひょうご産業活性化センターの「ひょうご農商工連携ファンド」を活用し、試作品作りを繰り返しました。バジルの風味を最大限残すには乾燥してから入れた方がいいのか、生のままがいいのか。どのくらい混ぜ込めば風味が出るのか。いろいろな角度から検証が続けられました。パッケージデザインはデザイナーに依頼し、3案考えてもらいました。商品名については、当初「野菜豆腐」を考えましたが、すでに登録されていることが分かったため、知的財産の専門家に相談し、最終的に「はりまのとうふやさい入」に決定しました。

ただ、肝心の試作品の評判が芳しくありませんでした。「移動販売車に載せて、多くの人に試食してもらったのですが、これなら白い普通の豆腐のほうがおいしいとの声が多数派でした」。そこで、試作品を展示会に出品してみました。すると評価が一変したのです。移動販売車で購入する顧客は中高年が多いのに比べ、展示会の来場者は子育て世代の女性が目立っていたためで、武内専務は大きな手応えを感じることができました。会場では3つのパッケージ案のうちどれが好感を持てるかアンケートに答えてもらい、最多票を集めたデザインで商品化しました。

正式に発売した後も売れ行きは好調で、特に山陽百貨店の直営店では若い世代が購入していくとのこと。「真心とうふ」全体の売れ行きにも好影響を及ぼしているそうです。現在はバジ

多彩な風味が楽しめる「はりまのとうふやさい入」シリーズ

ルのほか、姫路しょうが、紫芋、スイートコーン、大葉とラインアップが増え、「はりまのとうふやさい入」はシリーズ化しています。「もし自力開発であれば、最初に評判が芳しくなかったところでリスクを考え商品化をあきらめていたと思います。助成があったからこそ次のステップを後押ししてもらい、商品化することができました」と武内専務。これからも助成金を活用しながら、地元にこだわった新商品の開発にチャレンジしていこうとしています。

会社概要
武内食品株式会社

所在地　たつの市揖保川町原457-3
代表取締役　武内眞樹夫
事業内容　豆腐および加工食品の製造・販売

TEL 0791-72-2587
URL http://takeuchi-foods.com/

支援メニュー講座　ひょうご農商工連携ファンド事業助成金

中小企業者と農林漁業者が連携した、新商品、新サービスの開発を応援します。

制度概要

県内の農林水産物などの地域資源を活かした、中小企業者と農林漁業者等の連携による新商品・新サービスの開発の取り組みについて支援を行っています。

この助成事業により、魅力ある農林漁業ビジネスや市場ニーズに適応した新商品の開発を実現し、事業者の収益拡大に貢献するとともに、地域経済の振興を図ります。

また、既に新商品開発に取り組んでいる事業も対象となります。

メリット

- 商品開発に対して、500万円を限度とした助成金（助成率は、対象経費の3分の2以内）の交付が受けられます。（対象経費：原材料費、加工費、機械装置費、デザイン料、販路開拓費等）
- 中小企業者と農林漁業者が連携することで互いの強みを活かした商品開発が可能となり、新たなビジネスチャンスが広がります。
- 助成期間を最大2年間設けていますので、開発計画に合わせて事業期間を自由に設定できます。
- 助成を受けた事業については、兵庫県とひょうご産業活性化センターが共同してPRの取り組み支援も行います。

募集期間　2016年12月2日（金）まで

問い合わせは　ひょうご産業活性化センター創業推進部新事業課　TEL078-230-8110

あった、あった、ここや。
えらい大きい会社やなあ、
ドキドキしてきたわ。
あかん、
鎮まれ心臓
営業マンに弱気は禁物、
最初が肝心や。

初めて出会った
人と人とを
つなぐ。
それが、
わたしたちのしごとです。

「はじめまして。
カワサキと申します」
名刺を交換したら
お付き合いの始まり。
小さな紙片から
どんだけ仕事が広がるか、
さあ、ガンバルぞぉ〜！

株式会社 神戸新聞総合印刷
[神戸新聞総合出版センター]
http://www.kobenp-printing.co.jp/

活性化センター・カレンダー

「クリエイティブ起業創出事業」助成金採択者決定

新たな価値や市場を生み出すクリエイティブなものづくりやビジネスに取り組む起業家の、ビジネスプランの実現を支援することを目的とした「HYOGOクリエイティブ起業創出助成金」。11月1日にコンテスト形式の公開審査を開催しました。41件の応募の中から、一次審査を通過した11件のファイナリストが事業計画についてプレゼンテーションし、ビジネスの新規性、独創性や地域経済活性化への波及効果、来場者の声（反響）などを総合的に評価し、5件を当助成金の事業計画として選定しました。

また、基調講演として株式会社クラウドワークス 代表取締役社長兼CEO の吉田浩一郎氏が「二度の起業を通して学んだこと」をテーマに、諦めない心と強く志を持ち続けることの重要性を、自身の経験を交えて講演されました。

◆採択事業者一覧

【神戸】

○事業所名：(株)フードピクト（神戸市中央区）
代表者名：菊池信孝
事業計画：フードピクトを活用したグッズ商品とコンテンツサービスの販売

○事業所名：(株)Momo（神戸市中央区）
代表者名：大津真人
事業計画：歩きスマホ等の抑制、圏外で通信が可能なスマホケースとサービス

○事業所名：U.Lab（神戸市中央区）
代表者名：滝大輔
事業計画：風花（カザハナ）光の花アートプロジェクト

【東播磨】

○事業所名：(株)御影屋（高砂市）
代表者名：柿木貴智
事業計画：兵庫の地場産業の技術と松右衛門帆による高砂ブランド創出事業

【北播磨】

○事業所名：(株)CYURUN（三木市）
代表者名：宮城圭吾
事業計画：パーマカラーのダメージを除去し髪を20代にする化粧品開発

◆審査員

忽那憲治氏　神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科 副研究科長 教授
神戸大学大学院経営学研究科 教授（兼任）

東博暢氏　(株)日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 融合戦略グループ長／主席研究員

青木伸也氏　日本政策金融公庫　国民生活事業　神戸創業支援センター所長

湯川カナ氏　(一社)リベルタ学舎　代表理事

坊垣佳奈氏　(株)サイバーエージェント・クラウドファンディング 取締役

榎本輝彦氏　(公財)ひょうご産業活性化センター 理事長

◆基調講演

「二度の起業を通して学んだこと」
講師　吉田浩一郎氏
(株)クラウドワークス 代表取締役社長兼CEO

【参考】http://creative-hyogo.jp/contest/

【問い合わせ先】 創業推進部　新事業課
TEL 078-230-8110

挑戦する企業の応援団

支援ネットのひろば

「中小企業支援ネットひょうご」には、技術・金融・雇用など、専門能力の高い団体が勢ぞろい。技術やノウハウを総動員して、経営課題を解決！

情報カレンダー Information Calendar

「ビジネスチャンス・ナビ2020」のご案内

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催を契機として、中長期的にさまざまなビジネスチャンスが見込まれています。「中小企業世界発信プロジェクト2020」は、こうしたチャンスを都内の中小企業はもとより、日本全国の中小企業に波及させ、その優れた技術、製品等を世界に発信するプロジェクトです。プロジェクトの一つ「ビジネスチャンス・ナビ2020」は、東京2020大会等を契機とする官民の入札、調達情報を一元的に集約した情報ポータルサイトです。

▶「ビジネスチャンス・ナビ2020」の主な機能：
○東京2020大会等を契機とした入札、調達案件の情報提供
都や国、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、民間企業の入札、調達案件を検索することができます。
○ビジネスパートナーの検索（新規取引先の開拓）
サイトを通じた受発注取引や登録企業のPR情報を基に、ビジネスパートナー（新規取引先）企業を検索することができます。
※ご利用には新規登録が必要です。「ビジネスチャンス・ナビ2020」へ新規利用申し込み後、運営事務局の審査を通過することで利用を開始できます
※詳細については、HP（https://www.sekai2020.tokyo）をご覧ください
▶申し込み・問い合わせ先：
●「ビジネスチャンス・ナビ2020」に関すること
ビジネスチャンス・ナビ2020運営事務局
TEL0570-009-777
●「中小企業世界発信プロジェクト2020」事業全般に関すること
中小企業世界発信プロジェクト推進協議会事務局
TEL03-5822-7239

パワーポイント応用講座のご案内

資料作成時間の短縮や、説得力のあるプレゼンテーションに役立つパワーポイントの応用機能について、パソコンを操作しながら学習します。

▶日時：12月20日（火）10：00～17：00
▶場所：西神戸マイコン(株)　3階 パソコン教室
（神戸市中央区中道通3-4-3）
▶対象：パワーポイントの基本操作ができる中小企業者
▶定員：15人（先着順）
※申し込み方法など詳細についてはHP（https://www.chuokai.com/20161104094155.html）をご覧ください
▶受講料：1,000円
▶問い合わせ先：兵庫県中小企業団体中央会
TEL078-331-2045

簿記セミナーのご案内

「簿記っていったい何だろう」という疑問をお持ちの方に、講義の形式で分かりやすくご説明します。大原簿記専門学校と神戸商工会議所のコラボイベントです。

▶日時：12月21日（水）19：00～20：00
▶場所：大原簿記専門学校 神戸校
（神戸市中央区八幡通4-2-5）
▶対象：簿記学習未経験者、簿記検定3級受験経験者で学習してから時間が経っている方
▶定員：30人
▶受講料：無料
※詳細についてはHP（http://www.kobe-cci.or.jp/）をご覧ください
▶問い合わせ先：大原簿記専門学校 神戸校
TEL078-222-8655

県内業種別企業業績動向速報解説

この解説は、(株)TKC、および兵庫県内TKC会員事務所の資料提供協力により作成されたものです。業種別企業業績動向速報は、ひょうご産業活性化センターホームページ（http://web.hyogo-iic.ne.jp/）をご覧ください。

TKC近畿兵庫会
神戸中央支部・税理士
宮﨑 敦史

2016年10月の県下中小企業の業績動向は次の通り。調査対象企業3,703社のうち、黒字企業は半数をやや上回る50.4%の1,869社である。全産業の純売上高は、対前年同月比98.0%と減少した。これを業種別に見ると、建設業が101.0%、不動産業が103.8%と前年をやや上回り、一方、卸売業が99.2%、宿泊業・飲食業が99.4%、運輸・郵便業が99.9%、製造業が98.0%、小売業が97.0%、情報通信業が94.5%、サービス業が86.9%と前年を下回っている。

また、全産業の売上総利益率は26.5%で対前年同月比101.5%、売上高経常利益率は3.4%で対前年同月比97.1%である。売上高が対前年同月比98.0%で減少し、それに伴い売上高経常利益率が前年よりも減少している。

【建設業】調査対象企業634社中、黒字企業は319社で黒字企業比率は50.3%である。純売上高は、対前年同月比で101.0%と増加。売上高総利益率は23.7%で対前年同月比101.7%とやや改善している。売上高経常利益率は6.4%で対前年同月比106.6%とこちらも改善。売上高、利益率共にほぼ前年並みの数字で堅調に推移している。

【製造業】調査対象企業614社中、黒字企業は342社で黒字企業比率は55.7%である。純売上高は、対前年同月比で98.0%とやや減少。売上高総利益率は21.3%で対前年同月比101.9%と増加。売上高経常利益率は4.1%で対前年同月比89.1%とやや悪化している。

【不動産業】調査対象企業281社中、黒字企業は154社で黒字企業比率は54.8%である。純売上高は、対前年同月比で103.8%と増加。売上高総利益率は55.1%で対前年同月比88.3%と減少。売上高経常利益率は4.1%で対前年同月比46.5%と悪化。不動産賃貸・管理業は、前年並みと言えるが、不動産取引業において利益率の悪化が見られる。

【サービス業】調査対象企業144社中、黒字企業は65社で黒字企業比率は45.1%である。純売上高は、対前年同月比で86.9%と減少。売上高総利益率は36.6%で対前年同月比107.0%と増加。売上高経常利益率は4.3%で対前年同月比97.7%となっており、売上高は大きく減少しているが、利益率自体は大きな変動はないと考えられる。

事業承継保証「リレー」のご案内

役員退職金の支払資金や事業用資産の取得資金など、事業承継にかかる多様な資金需要に対応するため、平成28年11月より事業承継保証「リレー」の取扱いを開始しました。

本商品は、保証期間を最長20年に設定することができ、余裕のある返済計画を立てることができます。また保証料率は通常より平均20%割引します。ぜひご活用ください。

●事業承継保証「リレー」の概要

	対象者①	対象者②
対象となる方	事業承継計画を策定している 中小企業・小規模事業者	事業承継のために設立した持株会社 （純粋持株会社、事業持株会社）
資金使途	・役員退職金支払資金 ・事業用資産取得資金 （申込人以外が所有する事業用資産） ・その他協会が認める事業承継に必要な資金	・被後継者（現経営者）が保有する事業会社の発行済議決権株式総数の3分の2以上を一括取得する資金 ・事業会社の代表者が所有する事業用不動産の取得資金
連帯保証人	法人：代表者および原則として後継者 個人：原則として後継者	持株会社および事業会社の代表者ならびに事業会社の法人保証
保証限度額	2億8,000万円（組合の場合は4億8,000万円） ※一般の普通保険2億円（組合の場合は4億円）および無担保保険8,000万円の範囲内とします	
保証期間	**20年以内（うち据置期間2年以内）**	
返済方法	元金均等分割返済	
貸付利率	金融機関所定利率	
担保	必要に応じて提供していただきます	
保証料率	**通常の保証料率より平均20%割引**	

≪通常の保証料率≫

区分	貸借対照表あり									貸借対照表なし
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
責任共有保証料率	1.90%	1.75%	1.55%	1.35%	1.15%	1.00%	0.80%	0.60%	0.45%	1.15%

平均20%割引

≪「リレー」の保証料率≫

責任共有保証料率	**1.70%**	**1.50%**	**1.30%**	**1.10%**	**0.92%**	**0.77%**	**0.61%**	**0.45%**	**0.31%**	**0.92%**

※会計処理に関する割引制度を適用された場合、更に0.1%割引となります。

※上表は制度の概要であり、詳細は当協会の担当部署へお問い合わせください（担当部署についてはホームページをご覧ください）。

兵庫県信用保証協会
CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF HYOGO-KEN
http://www.hosyokyokai-hyogo.or.jp

技術最前線

セルロースナノファイバー強化ゴム材料の開発

兵庫県立工業技術センター　長谷 朝博

1.はじめに

次世代のバイオマス素材として注目されているセルロースナノファイバー(CNF)(図1)は、様々な産業分野への用途展開が期待されています。このような状況の中、CNFの実用化促進に向けて、当センターではゴムとCNFとの複合化に関する研究に取り組んできました。本稿では、CNFと天然ゴム(NR)との複合化により作製したバイオマス比率の高いCNF強化ゴム材料について、そして、スポンジゴム材料への応用について紹介します。

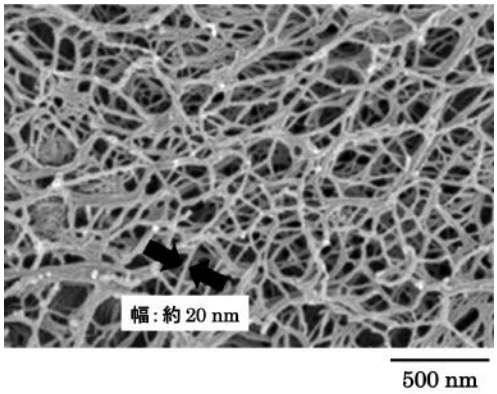


図1　CNFの電子顕微鏡写真

2.CNF強化ゴム材料の特徴

NR及びCNF強化ゴム材料、カーボンブラック(CB)強化ゴム材料の応力－ひずみ曲線を図2に示します。CNFを5部添加したものでは、低伸長域での引張応力が大きく向上し、ゴム用補強剤として一般的に使用されているCBを30部添加したものと類似の応力－ひずみ挙動を示しました。このことから、NRにCNF をわずか5部添加するだけでCBを30部添加したものと同程度の補強効果が得られ、CNF補強によって材料の大幅な軽量化が可能であることが明らかになりました。

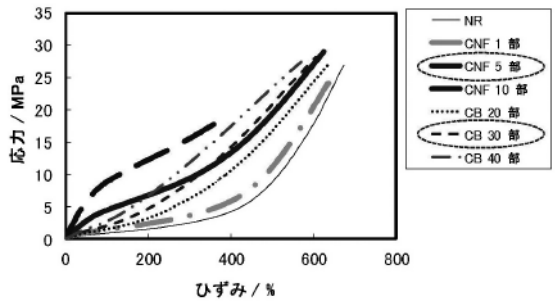


図2　NR及びCNF強化ゴム材料、
CB強化ゴム材料の応力－ひずみ曲線

3.CNF強化ゴムのスポンジゴム材料への応用

CNF強化ゴム材料のさらなる軽量化を目的として、スポンジゴムへの応用について検討した結果、CNFの分散性が良好な場合にはCNFがセル壁中に均一に分散し、セルを効率的に補強することが分かりました。これによって、図3に示すようにスポンジゴム材料の寸法保持率は、充填材無しや従来のシリカ補強品に比べて大きく向上しました。

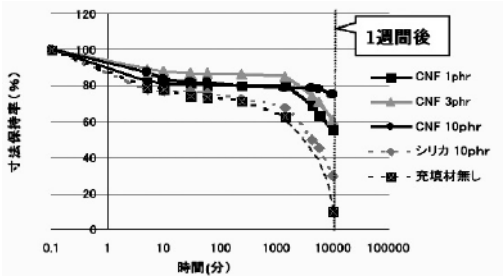


図3　CNF強化スポンジゴム材料の寸法保持率

4.CNF強化スポンジゴム材料のシューズへの応用

以上の知見を生かし、戦略的基盤技術高度化支援事業において、産官連携体制でCNF強化スポンジゴムを用いた軽量・高性能靴底材の開発に取り組んでいます。本事業では、図4のようなスポーツシューズを試作し、その製品化を目指しています。

図4　CNF補強軽量シューズ（試作品）

問い合わせ先
兵庫県立工業技術センター
○材料・分析技術部　化学材料グループ
TEL 078-731-4492
○総合相談窓口“ハローテクノ”
TEL 078-731-4033
URL http://www.hyogo-kg.jp/

TKC近畿兵庫会　神戸中央支部・税理士　宮﨑敦史

自己査定

自己査定は、金融機関が決算をするに当たって自行の貸出金等の償却や貸倒引当金を計上するための基準となるものです。資産を、正常先、要注意先、破綻懸念先、実質破綻先、破綻先の5つに分けたものです。つまり、自行の資産をこの5つに区分し、各々に分けられた資産の不良化する確率を倒産確率、貸倒実績率等に基づき償却準備や貸倒引当金の準備を行います。この資産が分けられることを「債務者分類」といいます。各分類を見ると以下のようになります。

正　常　先：業績が良好であり、かつ、財務内容にも特段の問題がないと認められる債務者。

要 注 意 先：金利減免・棚上げを行っているなど貸し出し条件に問題のある債務者、元本返済もしくは利息支払いが事実上延滞しているなど履行状況に問題がある債務者のほか、業況が低調ないしは不安定な債務者または財務内容に問題がある債務者など今後の管理に注意を要する債務者。

破綻懸念先：現状、経営破綻の状況にはないが、経営難の状況にあり、経営改善計画等の進捗状況が芳しくなく、今後、経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者。

実質破綻先：法的、形式的な経営破綻の事実は発生していないものの、深刻な経営難の状態にあり、再建の見通しがない状況にあると認められるなど実質的に経営破綻に陥っている債務者。

破　綻　先：法的、形式的な経営破綻の事実が発生している債務者をいい、例えば、破産、清算、会社整理、会社更正、民事再生、手形交換所の取引停止処分等の事由により経営破綻に陥っている債務者。

以上の債務者区分を貸借対照表（ストック）と損益計算書（フロー）で考えると以下のようになります。

＜正常先＞	• 資産超過 • キャッシュ・フローは十分プラス。
＜要注意先＞	• 資産超過 • キャッシュ・フローはマイナス。
＜破綻懸念先＞	• 債務超過 • キャッシュ・フローはプラス。
＜実質破綻先＞	• 債務超過 • キャッシュ・フローはマイナス。

参照：『実践！経営助言』TKC出版

成長期待企業のイチオシ！

中小企業支援ネットひょうごは成長性を見込んだ企業を「成長期待企業」として選定し、複合的な支援を実施。頑張る企業が誇る製品を紹介します。

設備の導入とともに省エネや効率化に貢献 海外進出でさらなる技術向上を

株式会社みつば電気

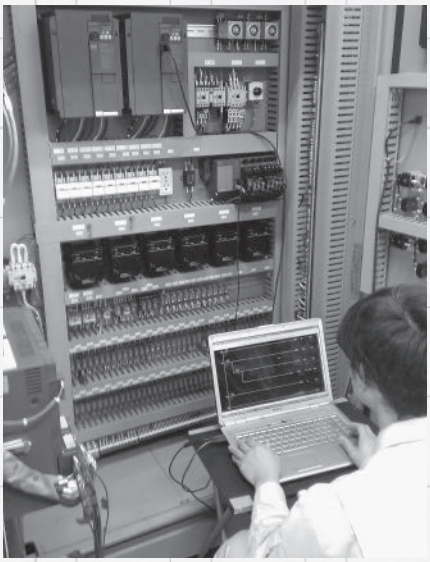
電気の見える化

1954年に電気配線工事で創業。80年代に入るとプラント設計から制御盤製作に至るまで、ものづくりのまち尼崎に集積する中小企業を対象に電気工事全般を任されるようになりました。

2015年に社長に就任した岡本光代さんが今、力を入れているのが、電気の見える化です。「仕事を通じて培った電気制御などの技術を生かし、単に設備を入れるだけではなく、現状の課題を伝え、その設備を入れるとどう省エネや効率化につながるかを説明しています」と話します。

例えば、LEDの導入では、更新による省エネ、省コストのデータを示すだけでなく高齢化の進む現場で作業性が上がることを、また、データセンターの構築では排熱と空調の組み合わせによりコンピューターにとって大敵となる熱だまりを防ぐ最適な方法を提案しています。導入を検討する顧客には、経済産業省や自治体の助成金も併せて紹介しており、「いかに負担を抑えて投資できるか」を経営者目線で提案することを心掛けています。

また、多くの工場に設置されている工業炉の制御盤の設計、製作、設置を一貫して提供している同社。既設の工業炉を省エネ診断し、省エネ効果の高い炉への交換を設置企業に提案するという新規事業も、工業炉メーカーと提携して行っています。



制御盤の組立作業

技術者のうち半数以上は、市内にある兵庫職業能力開発促進センターで職業訓練を受けた人材。技術者それぞれの良さを引き出し、高い定着率を誇ります。さらに、2年前に受け入れたベトナム人研修生の「自国で会社を経営したい」という思いをくみ取り、今年1月にベトナムに現地法人を設立しました。「日本国内で受注した制御盤設計の仕事を担ってもらうだけでなく、ベトナムで先行している海外メーカーの制御盤技術のノウハウを習得して日本での事業にも還元したい」と岡本社長。今後も柔らかい発想で省エネルギー社会に貢献できる事業を展開していきます。

1月に設立したベトナムの現地法人

◎株式会社みつば電気の電気の見える化

株式会社みつば電気／所在地：尼崎市西難波町3-17-13／**代表取締役会長：**岡本純一
事業内容：制御盤の設計・製作、各種電気工事
TEL 06-6418-3280／URL http://www.mitsubadenki.co.jp/

編集後記

「元気企業訪問」に登場いただいた武内食品。取材中にちょうど移動販売車が出発していきました。中小企業にとって常に課題として付きまとう販路開拓ですが、自ら売りに出る移動販売という手法は目からうろこでした。

JUMP
2016年12月号 平成28年11月30日発行
発行人：榎本輝彦　編集人：角　正憲

明日へ飛躍する企業をサポート
ひょうご産業活性化センター通信
発行所 公益財団法人ひょうご産業活性化センター
URL http://web.hyogo-iic.ne.jp/
神戸市中央区雲井通5-3-1 サンパル6階
TEL 078-291-8526

中小企業の経営者のみなさまへ

プロ人材採用で「攻めの経営」へ

企業のさらなる
成長に必要な
経験豊富な人材の
採用をサポート!

お問合せ

お電話でのお問合せ
078-200-5600

Eメールでのお問合せ
h_jinzai@staff.hyogo-iic.ne.jp

公益財団法人 ひょうご産業活性化センター
兵庫県プロフェッショナル人材戦略拠点
ひょうご専門人材相談センター

〒651-0096 兵庫県神戸市中央区雲井通5-3-1 サンパル6階
TEL：078-200-5600　FAX：078-200-5601
【(公財)ひょうご産業活性化センターWEBサイト】 http://web.hyogo-iic.ne.jp/
【ひょうご専門人材相談センターWEBサイト】http://projinzai-hyogo.jp/

私たちはあの日を忘れない！

地震も補償できる「休業補償共済」契約受付中!

県共済は兵庫県内の中小企業の事業再開を応援します。

「休業対応応援共済」

☆事業所の事業再開を応援する共済です☆

お支払いする共済金について

全損応援共済金3,000万円限度　一部損応援共済金1,500万円限度

共済金お支払い例

約定日額3万円　全損約定日数150日　一部損約定日数60日の場合　（休業日数50日）

全損応援共済金 3万円×150日 ＝450万円

一部損応援共済金 3万円× 50日(注)＝150万円

(注)一部損応援共済金は休業日数分(約定日数限度)お支払いします。

※約定日数とは1日あたりの粗利益額の70%以内で算出した金額で1万円単位で設定

上記補償の年間掛金は　耐火構造 17,544円　非耐火構造 24,864円

詳しくはぜひ一度、県共済にお問合せください!

県共済 兵庫の中小企業を補償でサポート
兵庫県共済協同組合
〒650-0011　神戸市中央区下山手通６丁目 3-28（兵庫県中央労働センター内）
TEL 078-361-8080　FAX 078-371-6757
http://www.ken-kyosai.or.jp　兵庫県共済　検索

発行　公益財団法人ひょうご産業活性化センター
神戸市中央区雲井通5-3-1 サンパル6階　TEL078-291-8526